

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	234	学校名	仙台市立沖野中学校	校長名	根本 光一
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「SDG s について考えよう 学校でできることは何か?」



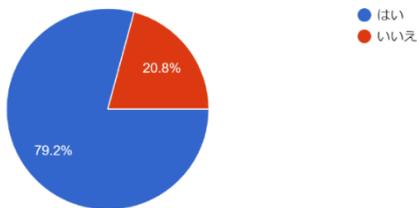
## 2 取組の紹介

今年度初めて実施する内容です。中学校3年間の各教科で学習した内容から、各ゴールの課題について改めて考え、「自分にできることや、学校でできることは何か」を個人から、学習班で考え、Jamboard を用いて共有し、持続可能な社会の実現のために自分たちにできることを考える力を養いました。

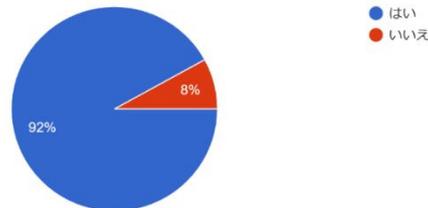
事前に3学年でアンケートをとった結果、約80%がSDG sに興味があると回答し、約70%の生徒がSDG sの活動に参加してみたいと回答していました。また、90%の生徒が自分にも何かできることがあるのではないかという思いがあるということが分かりました。このことから、生徒たちは現代社会の環境問題や科学技術の発展、持続可能な社会への興味や関心があり、持続可能な社会の実現に向け場やタイミングがあればさらなる取組をしたいと考えていることが分かりました。

今回話し合った内容から、次年度以降の学校での取組で生かしていければと思います。活動では、東京書籍の『EduTown SDGs -わたしたちがつくる未来-』を利用しました。このサイトで、各班で選択したSDG sの1~17のゴールについてのクリップを見ることにより、生徒たちは改めてSDG sの課題となっている内容を再認識し、自分たちにできることは何か、学校では何ができるのか?を話し合いながら見分を深めることができました。

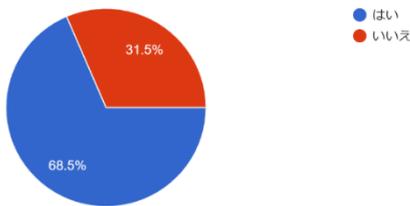
SDG s に関して興味や関心はありますか?  
125件の回答



自分たちにも何かできると感じますか?  
125件の回答



SDG s に関する活動に参加したいと思いますか?  
124件の回答



No. 8 項目名	働きがいも 経済成長も	優先順位: 5
課題になること	ブラック 企業 労働時間や 仕事を 増やす	失業者 を減ら す
自分たちにできること	エシカル消費を心がける(エシカル消費=社会問題に考慮して、課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと) フェアトレード商品の購入 地産地消を心がげる	GOTS認証やFSCラベル商品の購入(GOTS=原材料調達から製品化まで人権や環境に配慮されたオーガニックなものを(FSC=持続可能な森林開発、活用を目的とするものにつくラベル)
学校でできること	給食の食べ物や授業で使うものをフェアトレード商品やGOTS認定商品、FSCラベルのついた商品にする	過労死をなくす

## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

- ・ごみ拾いをする
- ・マイバックやボトルの利用
- ・3Rを一層意識したい



- ・現状を再認識したい・不用品の寄付
- ・SDG s などの活動に積極的に参加する
- ・啓発ポスターの作成・MSC 認証商品を買う

今回の話し合いなどの活動を通し、身近にできる内容から、より具体的な内容へと変わりました。これからの世代を担うことになる生徒たちは、SDGsを意識しながら行動する必要性を学ぶことができました。

